

施策 II-4-1	子育て環境の充実
--------------	----------

### 目 的

子育て支援サービスの充実や仕事と家庭の両立ができる環境の整備などを行い、子どもを安心して生み育てることができるようにします。

### 現 状 と 課 題

核家族化や地域の連帯感の希薄化が進む中で、子育ての負担感、不安感、孤立感が増しており、子育てを地域全体で応援する気運づくりや子育て家庭への支援サービスの充実が必要です。

結婚の希望がある独身男女は9割以上ですが、未婚・晩婚化が年々進んでおり、また理想の子ども数より実際の子ども数が少ないなど、結婚・子ども数について県民の希望が実現していない状況にあります。

出雲部を中心に保育所待機児童が発生しています。また、延長保育や一時保育など、働き方の多様化に対応した保育サービスの充実が求められています。

本県では全国に比べて共働きの割合は高い一方で、仕事と家庭の両立支援の取組みは遅れています。男女とも育児休暇が取得しやすく、子育てに対応した柔軟な働き方ができるなど、仕事も家庭も大事にしながら働き続けることができる職場環境が求められています。

### 取 組 みの 方 向

子育てを社会全体で応援する地域づくりに向けた啓発を進めるとともに、行政と、企業・NPO等の民間団体が連携して、子育てに優しい地域づくりを進めます。また、結婚や家族を持つことを希望する県民を応援する地域づくりを進めます。

事業主に対する啓発や職場の意識改革を進めるとともに、従業員の子育て支援に取り組もうとする企業を支援するなど、働きながら安心して子育てができる職場環境づくりを進めます。

こどもの健全な心身の発達が図れるよう、待機児童の解消や保育サービスの充実などに向けた市町村の取組みを支援し、保育所、子育て支援センター、放課後児童クラブなどの適正な運営の確保に努めます。

### 成 果 指 標 と 目 標 値

成果指標	平成19年度	平成23年度
しまね子育て応援パスポートの普及率	50%	65%
従業員の子育て支援に積極的に取り組む企業数	25社	150社
保育所入所児童数	20,148人	21,000人

しまね子育て応援パスポート事業(こっころ)事業で、対象世帯に対するパスポートが普及した割合です。対象世帯の3分の2に相当する普及を目指します。

しまね子育て応援企業認定制度(こっころカンパニー)の認定企業数です。県内に約170社ある

従業員数 100 人以上の企業については、1/2 を、従業員数 100 人未満の企業についても同数程度の認定を目指します。

保育所の入所児童数です。年々増加している保育需要に対応し、保育所入所児童数が増加することを目指します。

### 目的を達成するための主な事務事業

事業名	概要
乳幼児の育児支援事業 〔担当課〕青少年家庭課	保育所における多様な保育サービスの提供や、子育て支援センターなどにおける子育て相談、子育てに関する情報提供などを推進し、子育てに対する不安や負担の軽減、仕事と家庭の両立支援を図ります。
地域児童育成事業 〔担当課〕青少年家庭課	児童に健全な遊びや生活の場を与えるため、放課後児童クラブや児童館で取り組まれている活動を支援することにより、児童の健全な育成、共働き家庭等の子育てを支援します。
みんなで子育て応援事業(こっころ事業) 〔担当課〕青少年家庭課	県・市町村の共同事業で、子育て家庭に交付したパスポート(こっころ)を協賛店に提示すると、子育て応援サービスが受けられる「しまね子育て応援パスポート事業」やその関連事業を実施し、子育てを社会全体で応援する気運を醸成します。
仕事と家庭の両立支援事業 〔担当課〕青少年家庭課	労働者が働きながら安心して子育てできるよう、仕事と家庭の両立についての気運醸成を図るとともに、子育て支援に取り組む企業を「こっころカンパニー」に認定し広く広報するなど、仕事と家庭の両立を支援する企業を育成します。
ライフプラン応援事業 〔担当課〕青少年家庭課	少子化の最大要因である未婚化・晩婚化に対応し、独身男女の出会いの場を民間団体と協働して創出するとともに、独身男女のマッチングをするボランティア(はっぴいこーでいねーたー)を登録し、その育成や情報交換を促進します。